

山岳信仰と空海fi

●講師 高野山大教授 武内 孝善

日本密教の大成者・空海ほど伝記の多い人物はいません。多いけれども、決定的だありません。それは、潤色た後世の史料によっているからです。この講座、空海文章と同時代の史料にもとづいて、空海正真の姿を追います。空海原点は山林修行・山岳信仰でしたので、その視座立ち、六十二年生涯をたどります。特に、空海晴らしいことば・心の世界にふれ、混迷する今日を切り開く鍵を見つけ出します。

7月16日 空海は、なぜ高野山に伽藍を建てたか

1200年前の弘仁7年(816)、空海高野山の開創に着手した。今度も決して便利はいえない高野山。1200年前は原生林におおわれており、この地に足を踏み入れることえ困難をきわめた。では空海なぜ、都から遠隔地で、しかも850メートルの山に伽藍を建てようとしたのか。まず、この謎解き始めよう。

8月20日 空海の出発点・求聞持法と古密教の系譜

空海は18歳で大学に入ったが、間もなく虚空蔵求聞持法(くうぞうぐもんじのほう)と会い、ひたすらこの行に励んだところ、き「谷響せず、明星来影」との神秘体験遭遇した。進むべき道はこれだ、と確信空海は、体験した世界の探求を試みるが、わが国では答えが見いだせなかった。やがてこの探求先は入唐求法に向かうのであった。空海を仏道に導いた求聞持法とは何か。あわせて奈良時代山林修行と古密教の系譜をたどってみたい。

9月17日 空海は畿内で誕生した 一母の出自・阿刀氏に注目—

古来、空海が讃岐国で生まれたことを疑った者はいない。その根拠讃岐国多度郡方田郷なる本籍地あった。はたして、本籍誕生地といえるか否か。そこで、①空海一母が地方在住者としては破格の位階を有していたこと、②この奇縁の形態、③母の出自である阿刀氏は畿内に集団で住んでいたこと、を手がかりに、この謎地を考えた。なお、阿刀氏古代の大豪族・物部氏に連なる一族であり、玄昉道鏡・善珠の高僧を輩出している。誕生地阿刀氏の解明は、空海多くの謎をとく鍵となろう。



10月15日 空海の入唐求法 —密教との出逢い—

空海が真の空海となったのは、渡唐で長安青龍寺の惠果和尚(けいかかしょう)と出逢いインド直伝正統なる密教を余すところなく受法したときであった。空海唐求法には、多くの謎がある。初め空海に、惠果なぜ「私の持てるものを全て授けよう」と云ったのか。空海が帰国するとき乗った高階遠成(たかしなのとおなり)の船は、いかなる謎日であったのか。入唐いたる経緯長安における求法の実験を再現してみたい。

11月19日 空海と最澄 —その出逢いと訣別—

天台宗の開祖・最澄・真言宗の開祖・空海は、ときを同じくして入唐それぞれ密教をわが国に伝えた。最澄目的は「天台法門の正確なテキストの入毛天台法門の正統なる師伝を受けることであったが、~~密教~~密教・戒律・禪をも受法てかえった。帰国すると、桓武天皇は天台法門ではなく、帰国直前かけ足のように受法した密教に注目し、密教弟子の養成をも命じた。そこに、空海国し両者の交友がはじまるが、5年後は残念な結末を迎えた。なぜ訣別したのか、二の交友を追ってみたい。

12月17日 最晩年の空海 —高野山で迎えた最期—

承和2年(835)3月、空海自らの意思で、最期高野山で迎えた。かくも空海魅了した高野山とは、空海にとっていかなる場所であったのか。最晩年空海の事績を通して、空海にとっての高野山いま一度考えてみたい。あわせて、空海達した心の世界・宇宙観概観したい。

■日時 全6回 第3金曜日13時~14時半

■受講料 6回分 12,600円

※新入会の方は入会金4,200円が必要です。



朝日カルチャーセンター
朝日JTB・交流文化塾

名古屋

名古屋市中区栄fiのfiの4

スカイル 55階
TEL. 5478 87fi 8444fi